

無添加の石鹸作りにこだわる シャボン玉石鹸 社長の胸に宿る想いとは…

食べ物を選ぶように。
石けんにも、
こだわってほしい。

例えば石けんを選ぶとき、あなたは何を基準に選択しますか。洗浄力の高さ、泡立ちや香りのよさ、あるいは好きなメーカーだから。選ぶ理由は人それぞれですが、長い時間をかけて石けんを考え続けてきた私たちがひとつだけ伝えたいのは、その「質」にもこだわってほしいということです。決して高価な石けんを使ってください、というわけではありません。本当に自分の体に合うものなのか、環境にやさしいものなのか、そうした安心と安全の「ものさし」をひとつ加えて石けんを選んでほしいのです。

ものをきれいにする洗浄剤には「石



湿度や温度によっても石けんの仕上がりが変わるため、一定の品質を守るためには熟練の経験が不可欠。

けん」や「合成洗剤」がありますが、この二つは似ているようで、実は全く違うもの。私たちがつくる「石けん」は牛脂やパーム油、ひまわり油などの天然油脂を原料としたもので、体や環境にもやさしいのです。しかし、一方の「合成洗剤」は化学合成によって作られた合成界面活性剤を主成分としており、有害とされる化学物質が体内に吸収されたり、自然環境を汚してしまう恐れもあるのです。

最近では「無添加」という名のもとと安全なイメージを装った合成洗剤が多く出回っています。しかし、パッケージの成分表示を見てみると、様々な添加物が入っているのに、香料や着色料が入っていないだけで「無添加」とうたっているものが多く存在します。ですから、こうした表示にまどわされないためには、ものを選ぶ側の消費者が、正しい商品を選ぶだけの正しい知識を持つ必要があるのです。

直接肌につける石けんや口に入れる歯磨き粉だけでなく、洗濯用石けんも消費者が正しい知識を持って選

健康な体と、
きれいな水を守りたい。



代表取締役社長

MORITA HAYATO

森田隼人

んでいただきたいです。

なぜなら、洗濯後でも合成洗剤は衣類に残留し、直接肌に触れるからです。合成洗剤によくある「香りが続く」ということは、それだけ成分が衣類に残留しているということ。化学物質は口からだけでなく皮膚からも吸収されるのです。だからこそ安全な食品を選ぶように、石けん選びにもこだわってほしいのです。

自分のからだに合うもの。
それはきっと、
自然にもいいもの。

私たちシャボン玉石けんは、その社名が表すように「石けん」にこだわっています。天然油脂を原料にして、有害とされる化学物質や合成添加物を使わない。つくり方も伝統的な釜炊き製法である「ケン化法」にこだわっています。まるで料理をつくるように、熟練の職人の手によって丁寧にコトコト火を通す。出来具合の善し悪しをみるため、仕上げの際は舌で舐めて確認しています。これは、手間ひまかかる無添加石けん製造工程のこだわりです。また、ご家庭で使用した後に出る排水は、海や川にいる小魚や微生物のえさになります。自然から生まれた石けんは、私たちの暮らしを経て、再び自然へと還っていくのです。

こうして、安心の石けんをつくり続けてきたシャボン玉石けん。これまで私たちの製品をご利用いただいたお客さまからも、うれしい声がたくさん寄せられています。ご家族みんなで使い続けてくださる方、敏感肌にやさしいと言ってください方、妊娠して、赤ちゃんの笑顔のためにシャボン玉石けんを選んでくださった方。こうした多くの方からの確かな声があるから、私たちは長い間「石けん」にこだわり、人の暮らしの安心を支え続けることができたのです。

「健康な体ときれいな水を守る」。この原点を忘れず、これからもみなさまに安心・安全な製品をお届けしたいと思っています。



仕上がりを確かめるため、仕上げの際は舌で舐めて確認。安全な原料だけを使っているからこそできる技。

シャボン玉石けん Q&A

Q-1
排水として流しても
河川に
影響はないですか？

A 排水として流された石けんは、微生物の栄養源となり、短期間のうちに生分解されます。分解性が高いので、生態系にリサイクルされ、きれいな水を守ります。

Q-2
固形石けん、粉石けんで
「純石けん分99%」とありますが、
残り1%は何ですか？

A シャボン玉石けんは、香料、着色料、酸化防止剤、合成界面活性剤、蛍光増白剤を使用していない無添加石けんです。しかし、どんな製法であっても、反応しきれなかった原料油脂などがわずかに残ってしまうため、純石けん分99%と表示しています。

Q-3
シャボン玉石けんには
使用期限が
あるのでしょうか？

A 使用期限は3年を目安にしています。無添加石けんは長期保存すると黄変することがあります。変色しても使用上問題はございませんので、ご安心ください。

シャボン玉石けんを使った上手な洗濯の方法

- 1 予洗いをする**
汚れがひどい場合は、予洗いをすすめします(汚れの半分以上は水だけで落ちます)。ガンコな汚れは、あらかじめ固形石けんでこすり洗いをしておくとう効果的!
- 2 洗濯物を詰め込みすぎない**
洗濯物の量は、メーカー表示の80%が適量。
酸素系漂白剤との併用で、さらに洗浄力がアップ!
80%
- 3 石けんを適量入れる**
石けんの量が多すぎると、溶け残りやすすぎ残しのため黄ばみの原因に。少なすぎると洗浄力が低下します。使用量は、製品の表示どおりに、液面が少し泡立つぐらいが目安です。粉石けんは、ぬるま湯で溶かしてから直接洗濯槽に入れてください。
※粉石けんネット(→P.17)もごさい。
- 4 しっかりすすいで、すぐに干す**
洗濯物に石けんが残らないよう、たっぷりの水ですすいでください。最後のすすぎをする時に、パウダーリンス(→P.10)を小さじ約1杯か、食酢を小さじ約1杯半入ると、石けんカス防止になり、ふんわり洗いがります。
※水に溶かしたパウダーリンスや食酢を柔軟剤投入口に入れてください。

注 意

使用前には洗濯機の取扱説明書をお読みください。特にドラム式洗濯機をご使用の際は、取扱説明書をよくお読みください。粉石けんは、メーカーによって指示が異なる場合がございます。どの洗濯機タイプにおいても、洗剤投入口に石けんを入れると、故障の原因になります。洗濯槽の中へ直接石けんを入れてください。